

持続可能な未来への道

メーカー各社 SDGs の取り組み

Vol.11

マスプロ電工株式会社

今や、企業の共通言語となりつつあるSDGs。とりわけ、電設資材メーカーとの親和性は高く、2030年までに達成することを目指すSDGs17目標のうち「07:エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「08:働きがいも経済成長も」「09:産業と技術革新の基盤をつくる」「11:住み続けられるまちづくりを」「12:つくる責任 つかう責任」「13:気候変動に具体的な対策を」などは、電設資材メーカーの企業活動そのものとも言えます。



そこで、全日電材連賛助会員の電設資材メーカー各社を順番に訪問し、その先進的な取り組みをご紹介します。

マスプロ電工株式会社

本 社 所 在 地:	愛知県日進市浅田町上納 80 番地
創 立:	1953 年 (昭和 28 年)
設 立:	1955 年 (昭和 30 年)
代表取締役社長:	端山 佳誠
従 業 員 数:	513 名 (男性 409 名・女性 104 名) ※ 2024 年 3 月 31 日現在
事 業 内 容:	製造・販売・工事 TV 受信機器・TV アンテナ、衛星受信・通信機器、放送中継機器、セキュリティ機器、IoT ソリューション機器、CATV 機器・工事
H	P: https://www.maspro.co.jp/

沿革

1953年	マスプロ技研工業を創立。
1955年	昭和電機工業株式会社を設立。
1961年	マスプロ電工株式会社と社名を変更。
1966年	本社を愛知県日進町(現 日進市)に移転。
1973年	72年度売上高61.5億円。業界で第1位になる。
1989年	中国天安門事件で、中国中央電視台の衛星テレビをマスプロ電工の本社にある衛星アンテナで受信し、NHK様へ提供。
2002年	新本社ビルが竣工。新マスプロ美術館を開館。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



全てのステークホルダーから 信頼される会社となり、 社会貢献できること



第11回の訪問メーカー様は、愛知県日進市に本社を置くマスプロ電工株式会社様。

テレビ受信機器のイメージが強いメーカー様ですが、近年は、長年のテレビ受信機器開発で培ったアンテナ技術と高周波技術を応用したセキュリティー機器、IoTソリューション機器を加えた3つの柱で事業を展開されています。

原田義弘専務取締役企画管理本部長財務責任者、近藤真人取締役技術本部長兼品質保証部長、櫻井雄介経営企画部長兼広報統括の3人にお話を伺いました。

（文中での敬称は略させていただきます。）



近藤真人取締役
技術本部長兼品質保証部長

原田義弘専務取締役
企画管理本部長財務責任者

櫻井雄介
経営企画部長兼広報統括

編集部 2023年に創業70周年を迎えられました。近年注

力されている事業について教えていただけますか。

櫻井 2011年の地デジ化でテ

レビ受信機器のマーケットが縮小したのを契機に、第2、第3の柱としてセキュリティーやIoTソリューション機器の開発を開始し、徐々に事業領域を広げているところです。

中でも、セキュリティー機器は、首都圏などでの強盗事件多発による防犯意識の高まりをうけ、需要が急増し、電源をつけてすぐ映像が映るワイヤレスカメラシリーズが好評を博しています。

RFIDは複数のタグを非接触で瞬時に読み取れるため、各方面において、業務時間短縮が期待できるとして、注目を集めています。



SDGs達成目標

編集部 2030年のSDGs

達成目標を教えていただけますか。

近藤 当社では、これまで、次の

通り、環境に対する取組みを行っています。

▼1999年9月…ISO9000

1認証の取得

▼2005年…業界でいち早く欧

州のRoHS指令に対応した製品開発に着手

▼2005年…マスプログリーン

調達ガイドラインの策定し展開

▼2006年2月…ISO14000

認証の取得

▼2006年…一般社団法人家電

製品協会による「家電製品製品アセスメントマニュアル」(第4

版)に基づいた製品の環境配慮設計を推進

▼2012年…「あいちCO₂削減

マニフェスト2020」に参画。

▼2016年11月…「あいちCO₂

削減マニフェスト2020」のトリプル・スター認定事業者に認定

▼2023年7月…引き続き、「あ

いちCO₂削減マニフェスト2030」に参画

▼2023年12月…「あいち

CO₂削減マニフェスト2030」のダブル・スター認定事業者に認定

▼2024年…「あいちCO₂削減

マニフェスト2030」が終了し、新たな制度として開始された「あいちカーボンニュートラルチャレンジ」に賛同し参画、現在

継続中

数値目標としては、2030

年に2020年比で15%以上のCO₂削減を目指しています。

SDGsの取組み事例

編集部 では、目標達成に向けて

どのような環境活動に取り組んでいるのでしょうか。

近藤 一般的なことが多いです

が、照明器具のLED化、エコドライブの推進、低燃費車への切替、環境に配慮した製品の設計・開発・製造、リサイクルの促進等多方面において取り組んでいます。

編集部 環境面以外の取組みに

ついてはいかがでしょうか。

原田 当社では、従業員がそれ

ぞれの価値観に基づく理想のワークライフバランスを追求し、各々の生活(プライベート)を充実させることが、職場での生産性の向上につながると考えています。そのため、育児・介護支援、女性活躍の推進に関して、

かねてより制度の整備・充実を進めています。

編集部 具体的には、どのような取組みなのでしょうか。

原田 年度初めに10日の有給休暇を事前登録、コアタイムなしのフレックスタイム制度、法廷を上回る育児短時間勤務制度（小学校6年生まで利用可）、毎週水曜日のノー残業デー（本社）、男性労働者を含めた各種育児・介護支援制度などです。

編集部 現状、どのような効果が見られていますか。

原田 女性社員の育児休業取得



率はもちろん100%ですが、男性社員の育児休業取得率も2023年度は92.9%とほぼ100%に近くなりました。

また、一般職女性社員の総合職への転換制度を2018年に設け、現在までに15名の方が総合職に転換しています。

外部評価としては、あいち女性輝きカンパニー、プラチナくるみん、ファミリーフレンド企業（愛知県）の認定を受けています。

編集部 健康経営にも力を入れていらっしゃるんですね。

原田 当社には「健全な心と健康であることが人生で最も重要」という経営理念がありまして、創業以来、従業員の健康保持・増進活動には特に注力して取り組んでいます。「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」にも認定されています。

具体的には、次の観点で取り組んでいます。

① 疾病予防への取組み……50歳以上の全従業員に対し、定期健康診断において会社負担による腫瘍マーカー検査を実施するなど

② 健康増進への取組み……運動機会の提供として、毎朝ラジオ体操を実施、本社社屋での全面禁煙実施など

③ メンタルヘルスケアへの取組み……ストレス調査の実施、メンタルヘルス相談窓口の設置など

④ ワークライフバランス

⑤ 労働安全衛生……リスクアセスメント、交通安全教育など

⑥ 健康経営の目標値設定の取組み……経営上の課題に対してKPI（重要業績評価指標）を設定し、健康経営による効果を測定

編集部 非常に充実した取り組みを実施されているんですね。

原田 近年は、公益通報窓口（社内2、社外1）の設置など、※人権デューデリジェンスにも注力し

て取り組んでいます。
※人権デューデリジェンス……企業の事業及びサプライチェーンにおける人権への負の影響を防止・軽減、是正・救済する取組み

■商品面での取組み

編集部 では、商品面でのSDGsの取組みを教えてくださいませんか。

櫻井 当社では、近年SDGs商材として、「安心・安全な社会の実現に貢献する」商品ラインナップを順次拡大しているところでは、

「ワイヤレスカメラセット」は、昨今多発している、空き巣や強盗事件に対するセキュリティの強化という点で、防災対策の観点からは、「ポータブルバッテリー」がおすすめです。こちらは、（二社）防災安全協会より防災製品等推奨品に認証されています。

編集部 SDGs商材を拡販するための電材卸会社への要望

は。

櫻井 「ポータブルバッテリー」に関して、当社としては、適切なリサイクル・廃棄を行うため、（社）ポータブル蓄電池リサイクル協会の方針に従い、リサイクルの更なる推進に向けた廃棄方法を進めています。

具体的には、電池容量の小さい製品は自治体のルールに従い廃棄、電池容量の大きい製品は同梱されているリサイクルシールを貼って同協会に送付して頂く。販売だけでなく、使い終わった後までしっかりアプローチ

チしていくことが、SDGs商材を販売するメーカーの使命です。電材卸会社様には、その一連の流れをお客様に周知するお手伝いをしていただきたいと考えています。

■SDGsの取り組み 展望と課題

編集部 SDGsの取り組みについて、展望と課題があれば、お聞かせいただけますか。

原田 当社は、全てのステークホルダーから信頼される会社となり、社会貢献できることを経営の基本方針としています。この方針のもと、「多様な働き方」や「健康経営」、「安心・安全な社会の実現」に向けた取り組みを行っています。

今後は、サステナビリティ（持続可能性）の実現に向けて、SDGsやESG、CSRが相互に連携した取組みを強化していきたいと考えています。

課題としては、カーボンニュートラルに向けた温室効果ガス（GHG）排出量「スコープ1・2」の算定をするとともに、サプライチェーンに対する「スコープ3」の算定をし、具体的なGHG排出量削減目標を設定していかねばならないと考えています。

今後も製品のライフサイクル全般で環境負荷低減に配慮した設計を行っていくことを目指しています。



ロダン「考える人」
「よい製品は、良い考えの中から生まれる」という理念の実現を願い、本社前庭に飾るロダン作「考える人」。



SDGs

いちおし
商品

「ワイヤレスカメラセット」「ポータブルバッテリー」

「ワイヤレスカメラセット」

●主な特長

- ・電源を入れるだけで、カメラの映像をモニターへ表示
- ・約300万画素の高画質撮影
- ・センサーライト機能で不審者を威嚇
- ・カメラとモニターで通話可能
- ・カメラのスピーカーでの警告音機能

WC3A7ML
WC3A10ML

- ・モニターもアンテナ延長が可能
- ・最大4台まで同時撮影可能
- ・すぐ確認できる、専用モニター
- ・選べる2種類のモニター（10.1インチ光沢液晶または7インチノングレア液晶）
- ・夜間・暗所の撮影に対応（赤外線撮影対応カメラ）
- ・スマホで確認・お知らせ
- ・microSDカード/外付けハードディスクへの録画機能
- ・HDMIミニケーブルで外部モニターへ表示
- ・ズーム表示機能
- ・高性能アンテナ



WC3A7ML



WC3A10ML



WC3A7M



WC3A10M

「ポータブルバッテリー TLB175TG/TLB330TG」

●主な特長

- ・安全性の高いリン酸鉄リチウムイオン電池を採用
- ・3WAY電源対応（ACコンセント、USB端子、アクセサリースOCKET）
- ・いざという時にも役に立つ「防災製品等推奨品」
- ・本体天面にかんたんユーザーガイドを表示
- ・分かりやすい日本語表記のパネル
- ・スマートフォンやタブレットで操作が可能
- ・ライト機能搭載（TLB175TGのみ）



TLB175TG



TLB330TG

会社のお宝

ご紹介



歴代ヒット商品



1961.10
UHFコンバーターを開発。月10万台以上を製造。



1964.2
世界で初めて、塗装したカラーアンテナを発売、大ヒットに。屋根の上にあるカラーアンテナは、高嶺の花だったカラーテレビがある家庭の目印になりました。



1992.4
世界で初めて、CD-iの再生もできる音声ガイド付GPSカーナビ「ナビゲーター」を開発。



2012.9
家庭用のホームセキュリティー機器「カメラ付お留守番チェッカー」



2017.9
屋根に設置しても住宅の美観を損ねない、ポール型地デジアンテナ「UNICORN」を開発。